放牧地へのシバ植え付け指導

萩農林事務所畜産部
平成22年5月20日

５月19日（水）に管内肉用牛農家にてシバの植え付け指導を行いました。
シバは温度適応範囲が広く、永続性があり、さらに低コスト管理が可能であることから、放牧草種として注目されていますが、一方でその植え付けや初期管理方法などに注意が必要です。
そこで今回は、農林総合技術センター畜産技術部と連携して、植え付け手順やその後の管理方法等について指導を行いました。
当日は、悪天候の中、約1.3㌶分のシバ苗の植え付けを行いました。今後は、放牧を利用しながら徐々に放牧地全体にシバを広げていく予定です。
萩農林事務所畜産部は、シバ草地の利用を拡大することで、放牧を活用した肉用牛の増頭につながるように、関係機関と共に技術支援を行います。

植え付け指導

放牧地